

営農ウィークリーNEWS

JA京都中央管内特産のお花紹介

当JA管内には、切花、花壇苗、鉢物、花木と多種多様な花づくりに毎日励む農家さんが数多くおられます。そんな方々と栽培されている花を少しでも知っていただくために、地域特産のお花を紹介していきます。今回は静原の堀内眞治さんをお訪ねしました！



キキョウ

品種：キキョウ科キキョウ属

栽培時期：4月～9月

色：青、白、ピンク、紫

花言葉：「永遠の愛」

特徴：寒さに強い、枯れても根が残るので毎年咲く



堀内眞治さん

栽培品種：パンジー、ピオラ、ハボタン、キキョウ、ペチュニア等

栽培面積：約1ヘクタール（花と野菜を合わせて）

就農きっかけ：北海道で酪農を営んだ後、実家のある京都で会社員として働きながら、趣味で花を育て始めて、花農家へ転職されたそうです。現在は花だけでなく約60種類の野菜も栽培されています。

経営方針：住んでいる地域や自分の手に合う育てやすい花を作ること。春に花を作らず少し時期をずらして作ること。

嬉しかった時：イベントで直売をしていて「花がずっときれいで長持ちした」という言葉をもらった時

花は鑑賞するだけではなく、昔のように花で遊ぶ、例えばシロツメグサで花かんむりを作る、花茎部分を絡ませて引っ張り合う草相撲をするなど小さいころから自然に触れる機会が増えていけばいいですね！ということをお堀内さんは仰っていました。



ペチュニア

品種：ナス科ペチュニア属

栽培時期：4月～9月

色：赤、白、ピンク、黄、紫など

花言葉：「心の安らぎ」

特徴：暑さに強い夏の花、水に弱い、花びらが薄い

堀内さんは北部支店前の花壇を世話して下さいています。2か月に1回花が替えられています。(写真：大原支店)



病害虫発生予報第5号（7月）

予報の概要

作物名	病害虫名	予想発生量 〈平年比（前年比）〉	
イネ	葉いもち	やや少(やや多)	
	紋枯病	<u>やや多</u> (やや多)	
	セシロウカ	<u>多</u> (多)	
	ツマク ^ロ ヨコハ ^イ	<u>やや多</u> (多)	
	斑点米カメムシ類	<u>多</u> (多)	
ダイズ、アズキ	アブラムシ類とウイルス病	<u>やや多</u> (並)	
ナシ	黒斑病	やや少(少)	
	黒星病	<u>やや多</u> (やや少)	
	ハダニ類	並(やや多)	
ブドウ	べと病	少(やや少)	
カキ	うどんこ病	<u>多</u> (多)	
カンキツ	ハダニ類	<u>やや多</u> (やや多)	
果樹全般	カメムシ類	<u>多</u> (多)	
チャ	炭疽病	山城 やや少(並)	
		丹波 やや少(並)	
		丹後 並(多)	
		山城 並(並)	
		丹波 並(やや多)	
	チャノコカクモンハマキ	丹後 <u>多</u> (並)	
		チャノホソカ ^ク	山城 やや多(並)
			丹波 並(やや少)
			丹後 やや少(やや少)

作物名	病害虫名	予想発生量 〈平年比（前年比）〉
チャ	カンサ ^ク ワハダ ^ニ	山城 並(並) 丹波 並(やや少) 丹後 並(並)
	チャノキイロアサ ^ク ミウマ チャノミト ^ク リ ヒメヨコハ ^イ	<u>やや多</u> (並) <u>多</u> (多)
	クワシロカイカ ^ク ラムシ	山城 やや少(並) 丹波 <u>やや多</u> (やや少) 丹後 並(並)
果菜類	疫病・褐色腐敗病 うどんこ病 アブラムシ類とモザイク病 アサ ^ク ミウマ類 ハモク ^ク リハ ^エ 類	やや少(やや少) 並(やや少) やや少(少) 並(やや多) やや少(並)
ウリ類	べと病 炭疽病	並(やや多) やや少(やや少)
キュウリ	斑点細菌病	並(少)
ネギ	ネキ ^ク アサ ^ク ミウマと ネギえそ条斑病	<u>やや多</u> (やや多)
	ネキ ^ク ハモク ^ク リハ ^エ	やや少(やや多)
野菜全般	ハダニ類	<u>多</u> (やや多)

—TAC information—

『ホットプレートでお茶作り』



2020年6月23日（火）向島茶生産協議会茶業部が、京都市立向島小学校の4年生を対象に、ほっとプレートでお茶作り体験授業を実施されました。

通常、5~6時間かかる製茶作業が、約1時間半ほどで完成できます。

約100gの生の茶葉から約20gのお茶ができます。

手で揉みながら、茶葉の水分を押し出し、ホットプレートで水分を乾燥させる。この工程を繰り返して、お茶が出来上がります。

ホットプレートの温度調節が難しく、油断するとお茶が焦げてしまうので、なかなか大変な作業です。

生徒たちは、「いい香りがする」「甘い」などと、出来上がったお茶を楽しんでいました。